

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月28日

会社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社（コード番号：4783 登録銘柄）
（URL <http://www.ncd.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 下條 武男

問い合わせ先 責任者役職名 取締役経営企画室長
氏名 松本 一明

（Tel: (03) 5437-1021）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無
認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 売上高 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	百万円
16年3月期第1四半期	1,417
15年3月期第1四半期	
(参考) 15年3月期	6,859

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、一時的な米国の株価上昇を好感して株式市場は活況を呈しましたが、本格的な景気回復とまでは至りませんでした。

当業界においても民間設備投資の低迷とデフレ圧力による受注量の低迷、受注単価の下落により、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、前期の受注残案件が当第1四半期から納期を迎えることもあって、全般的に業績好調に推移いたしました。

この結果、当該四半期の連結業績は、売上高 1,417 百万円、営業利益 32 百万円、経常利益 47 百万円となりました。

部門別の状況は、次のとおりであります。

システム開発事業

前期からの残案件と新規受注による業務量が増加しており、業績は安定的に推移いたしました。また、生産体制につきましても、前期に整備した海外生産体制が機能したこともあり、順調に推移いたしました。この結果、売上高は 897 百万円、売上総利益は 177 百万円となりました。

サポート&サービス事業

前期に発生した損失プロジェクトも早期に一段落し、要員シフトによる体制の強化が軌道に乗ってまいりました。また、今まで受注拡大が難しかった顧客からも実績が認められ、受注は増加傾向となっております。利益面においても、値引き要請は営業努力により当初予想より影響を受けずに済み、売上高は 254 百万円、売上総利益は 56 百万円となりました。

パーキングシステム事業

前期から持ち越された案件が徐々に成約してきております。また、当期においても自営の駐輪場開設や運営を含め、新規案件が鉄道事業者、商業施設を中心に増加しており、売上高は 230 百万円、売上総利益は 53 百万円となりました。

なお、「パーキングシステム事業」は、従来の「自転車駐車場関連事業」を、より実態に合わせるため、当期より名称変更したものです。

その他事業

二次元コード関連を中心とした新規事業につきましては、まだインフラの整備段階ではありますが、前期からの継続案件の受注等により、売上高は 34 百万円、売上総利益は 6 百万円となりました。

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当する事象はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	3,350	145	55	14 47
通期	7,300	410	155	38 62

業績予想につきましては、現時点においては、当初予想に変更はありません。

以上